

圓福寺報

謹賀新年



平成23年 元旦

圓福寺報 第五十八号
 平成二十三年一月一日発行
 発行者 臨濟宗妙心寺派 圓福寺
 千葉市稲毛区六川町三七五 TEL (二五二) 九二八一
<http://www.chiba-enpukuji.com>
 E-mail: oshou@chiba-enpukuji.com

目次

法話「K・YからK・Mへ」 2 頁

臨濟宗妙心寺派東京教区
「親化授戒会」 磯辺 稲田 陽英さん 6

二順目第六回 「四国歩き遍路の旅」 8

第七回四国あるき遍路のご案内 11

十一月土曜会 「市原、収穫祭」 12

宗欽禅士、麟祥院入寺式
六川花園幼稚園 園だよりから
「3ない子育て」 15

土曜会・写経会・ご詠歌

茶禅会のご案内 16

涅槃寄席 17

第三十回花園会ゴルフ大会 17

お寺と和尚の日録抄 18

平成二十二年年忌表 18

平成二十二年行事予定 19

花園会新年会のご案内 20

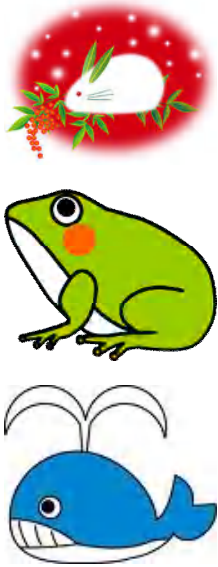
毎年表紙を飾ってくださいる千
 支色紙は、星久喜町の吉田和子
 さん(八四)の作品です。

K・YからK・Mへ

あけましておめでとうござい
ます。よいお正月をお迎えのこ
とと存じます。

正月の室内遊びといえは、カ
ルタと相場が決まっていた気が
するのですが、最近ではテレビ
ゲームにその場を奪われている
に違いありません。

カルタのような伝承の言葉遊
びでもっと身近なのは「しりと
り」です。子ども頃、布団に
入ってから母としりとりをしな
がら寝たことを思い出します。
それと、言葉の連想遊びでも
いうのでしょうか、さしずめ今
年のお正月だったらウサギから
はじめて、「ウサギは跳ねる」



「跳ねるはカエル」「カエルは
泳ぐ」「泳ぐはクジラ」「鯨は
大きい」「大きい」は○
○」・・・そんな遊びも子ども
の言葉遊びとして伝えられてき
ましたが、最近ではテレビの前
で、ギャーッとウーッと
か、ゲームに夢中になっている
言葉にならない声しか聞こえて
こないかもしれません。

そんなことを考えながら、
「ウサギは白い」、白いは
「雪」にしようか「豆腐」にし
ようかなんて戸惑う自分に、こ
れじゃ負けだなと心の中で苦笑
いしてしまいました。今はやり
に、「どとのいました。」なん
て言っている間なんかありませ
んから・・・。

そこで、気を取り直して、
「ウサギは白い」「白いは豆

腐」ときて、また
迷ってしまいました
た。反射的にこと
ばが出て来ないの
は、余計なことを
すぐ考えるからな
のか、考えたくは
ありませんが加齢
のためなのか。昔から運動神経
はいいはずなのにあと、今度
は言い訳を考える始末です。

■白いは豆腐

「白いは豆腐」で思い出した
のが、俳人萩原井泉水の随筆
「豆腐」です。間違えるといけ
ないので、原文のままご紹介し
ます。

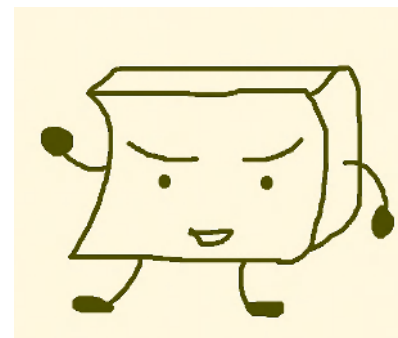
「豆腐ほど好く出来た漢はあ
るまい。彼は一見、佛頂面をし
ているけれども決してカンカン
ほくねんじん
頭の木念人ではなく、軟かきの
点では申し分がない。しかも、
身を崩さぬだけのしまりはもっ
ている。煮ても焼いても食えぬ
奴と云う言葉とは反対に、煮て





もよろしく、焼いてもよろしく、汁にしても、あんをかけても、又は沸きたぎる油で揚げて、寒天の空に凍らしても、それぞれ味の出すのだから面白い。又、豆腐ほど相手を嫌わぬ者はない。チリの鍋に入っては鯛と同座して恥じない。スキの鍋に入っては鶏と相交って相和する。ノツペイ汁としては大根や芋と好き友人であり、更におでんにおいては蒟蒻や竹輪と強調を保つ。されば正月の重詰めの中にも顔を出すし、佛事のお皿にも一役を承^{うけたまわ}らずには居ない。彼は実に融通がきく、自然^{けだ}に凡てに順応する。蓋し、彼が

偏執^{へんしゅう}的なる小我を持たずして、いわば無我の境地に到り得て居るからである。金剛經に「^{おうむしよじゆうにしようごしん}應無所住而生其心^{まさ}」＝應に住する所無くして而も其の心を生ずべし（金剛般若經）とある。これが自分の境地だと腰を据えておさまる心がなくして、与えられたる所に従って生き、しかあるがままの時に即して振舞ふ。此の自然にして自由なるものの姿、これが豆腐なのである。」
と、そのままご紹介させていただきます。言葉の連想遊びは、「白いは豆腐」から「豆腐はえらい」につながってまいりました。
豆腐はよくできた奴だといっています。最後の方で金剛般若經を引き合いに出しているところから、仏教的に見てよくできた奴だと言っているのだと思います。
石頭で融通が利かないという



わけでも、自分らしさを失わず、どんな人とも上手に付き合えるという和合の心も持っている。それは、無我の境地に至っているからだといえます。そして、私たちは、与えられた所に従って生き、あるがままの時に即して生きていくことが、自然にして自由な生き方だと荻原井泉水は言っています。
あとは、私たちが生きていく場面場面で、お豆腐のことを思い出しながらお豆腐のように生きていけば、あいつほど好く出来た奴はいないといわれるわけですが、もう少しお話を続けさせていただきます。

わけてなく、柔軟性も兼ね備えている。これは仏教の中道の教えにも通じます。どんな

■頬をなでる風

現妙心寺派管長の河野太通老師の師、山田無文老師は、若いころに大病を患い故郷で療養をされたことがあります。ちょうど同じ頃に、お兄さんも結核になり、薬石効なく他界されました。大病を患っているところに兄弟の死、自分にも間もなくお迎えが来るのではないか、自分もすべてから見放されたと思っておられました。



梅雨の終わる頃、少し体調がよかったので寢床から離れ、縁側に座って庭を眺めていると、気持ちのいい風が頬をなでて行ったそうです。その時にふと、「風とは何だったかな。」
「風は空気が動いているのだ。」
「そうだな、空気というものがあつたなあ。」と気付かれました。



生まれてから二十年もの間、この空気に育てられながら、この空気に養われながら、空気のあることに気がつかなかつた。私の方は空気があ

るぞとも意識していないのに、空気の方は寝ても覚めても休みなく、わたくしをだきしめていた。と気がついた時、泣けて泣けて仕方がなかつたと述懐されました。

そして、
「大いなるものに
いだかれあることを
けさふく風の
すずしさにしる」

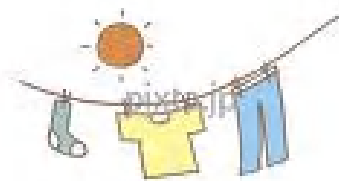
というつたない歌が浮かんだと、自作の歌を紹介されています。
おれは一人じゃないぞ。おれの後ろには、生きよ生きよとおれを育ててくれる大きな力があるんだ。おれは治るぞとの思い

を強くされたこともあり、その後病氣も治り、花園大学に学び、卒業後は嵐山天龍寺専門道場で関精拙老師のもとで修行をされて、のちに神戸祥福寺専門道場師家、花園大学学長、妙心寺派管長まで務められました。

■K・M（空気に学ぶ）

最近の洗濯用洗剤はいろんな種類が出ているようで、室内に洗濯物を干す時の洗剤とか、香り付きの洗剤、コンパクトなものなど、テレビのコマーシャルやホームセンターのチラシを見るとその種類の多さに驚かされます。

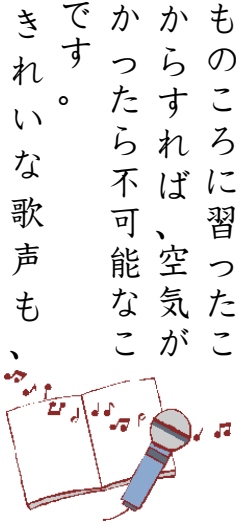
先日、何気なく室内に干してある洗濯物を見ていた時、風通しを良くすれば早く乾くだろうな。お日さまの光を浴びたら水分が早く飛ぶだろうなと連想しました。



そして、その水分はすべて空気中に出され、空気はそれを受け入れていくんだなあと思いました。

そう思ったなら、空気は部屋干しのイヤなおいでも、香り付き洗剤のいいにおいでも、洗濯物に限らず、猛暑の夏の汗であろうが、なんでも受け入れていくなあ。もし、空気が水分を受け入れていなくなったら、洗濯物はいつまでも乾くことはないし、汗もいつまでも体にまとわりついたままになってしまいうんだなあと、なんとなく背中がむずむずしてしまいました。

また、私たちが話をしたり、カラオケで歌を歌ったり、音楽を聞いたり、本堂で木魚の音が聞こえたり、お経を聞いたりするの、音は空気の振動だと子どもたちのところに習ったことからはすれば、空気がなかったら不可能なことです。



朗々たるお経の声も、あるいは耳障りな車のクラクションも、けんかして怒鳴る声も、善し悪しを分別して空気が伝えているわけではありません。

空気自体は、色も香りもなく、姿が見えませんが、いざとなったら大風となつて天地がひっくり返るほどの自己主張をしますから、決して自分がないわけではありません。そして、人間の都合で機械で温められたり冷やされたりしても、一言の不平を言うわけでもなく、工場の煙やたばこの煙も受け入れて、いつの間にか浄化してしまふというすごい力を持っています。

この空気というやつは、すごいなあと感心いたしました。そして、これが人間のあるべき姿かもしれないと納得しました。

■「えらいは空気！」

萩原井泉水「豆腐」の最後に、「初めは冷水の中にドップ



りと浸けられた上で、熱湯の中をぐりぬける。その後、石臼で自分という形を無くされ、にがりによって程よい硬さにされる。人間の修業もいえる。だからこそ求められるままに対応できる。」とあります。

私たちが生きていく上で、老病死の四苦はじめ、いとしい人との永久の別れ、求めても得られないつらさといった厳しい体験を積んでいるではありませんか。そして、悲しみや苦しみはなくならないにしても、いつのまにか受け入れていくような気がします。そんなとき、あの人豆腐のような人だとか、空気がような人だとか言われるような気がします。

そんな空気や豆腐のように、
おうむしよじゅうにしようごしん

「應無所住而生其心」と一年を過ごしたいものです。

臨濟宗妙心寺派東京教区

親化授戒会

磯辺 稲田 陽英さん

平成二十二年十月十九日
(火)午前十時より、品川区高輪「佛日山東禪寺」に於いて、臨濟宗妙心寺派東京教区の「定期御親化授戒会」が執り行わ



戒徒を門送される管長、河野大通老大師

れ、当山から平山・稲田両名が参列致しました。

お授戒のパンフレットによれば、「仏教とは、仏様のみ教えによって正しく人間らしく、本当のしあわせを自覚して力強く生きてゆくという生き方の教えであり、特に禅宗では、このような生き方を大切にします。」とあります。そして、親化授戒会は、妙心寺派管長猊下を通じて仏様のお弟子に加えていただく行であり、儀式とのことでした。管長様直々のご指導によって行をすることで、浄く正しく人間らしい生き方を自覚し、日ごろの煩い・悩みを解消して、安心(心のやすらぎを得て動ず

ることのない境地)の生活を送れるようになるための行をしてまいりました。

東京教区で開かれる御親化授戒会は十四年ぶりとのことでしたが、厳かな式は執行諸役位先導の下肅々と進行し、参列の戒徒三〇〇名には緊張感みなぎる厳肅且つ神妙な一日でした。

会所の東禪寺は慶長一五年(一六一〇)江戸城外に創建され、本尊は釈迦如来、開山は嶺南崇六禪師、開基は宮崎の飴肥藩主伊東祐慶候です。寛永一三年(一六三六)この高輪の地に移転再建されました。幕末に



東禪寺山門前で、参加した稲田さん(左)と平山さん

は、英国公使宿館にもなったそうです。その歴史と荘厳な建物の中での授戒は、さらに厳肅さを感じさせてくれました。
以下、戒徒を導いて下さった方々と授戒会の内容をご紹介します。

■当日戒徒を導いた方々

□戒師

妙心寺派管長

又玄窟

河野

太通老大師

□羯摩師（戒徒に作法を授けます）

平林寺副住職

松竹

寛山老大師

□香水師（戒徒を香水で浄めます）

東禪寺住職

千代城

博光老大師

□親化執事（授戒会を取り仕切ります）

妙心寺派教学部長

栗原

正雄大和尚

□親化布教師

（授戒の意義・目的・大切さを説きます）

妙心寺派布教師

高橋

宗寛和尚

■日程と概略

午前九時 受付開始

午前十時 開式

晋山式

儀式の期間中は戒師（管長）が東禪寺の住職となり、当寺が授戒会のための特別の寺になります。

講座 戒師説話

加行礼拝

一段と力を加えて修行する、授戒会中最も重要な行。「懺悔」を通じ各人の心と身体を共に清めるための修行。

午前十一時 説教 授戒について

十二時

午後一時

齋座（昼食）
授戒作法の説明

午後一時半 授戒

鐘・太鼓の合図で親化布教師・香水師・羯摩師・戒師入堂。三千仏回向、「引請文」奉読「禅戒規範」読誦

戒脈授与

「香水」「三宝印」拝戴・「戒脈」拝受

午後二時半 総供養

送行行事

般若心経諷経、「南無三世三千諸仏」礼拝、「南無伝戒大師」礼拝、戒師への感謝の礼拝

閉会

戒徒代表謝辞

親化執事閉会の辞

午後三時半 戒徒分散

戒師・羯摩師・香水師・執行諸役位、鳴らし物の中を仏弟子見送り

以上

初めてのことで、その上言葉足らずで、皆様にきちんとお伝えすることができませんが、僭越にも圓福寺を代表して、このようない行事にお参りすることができ、ありがとうございました。



一 巡目第六回

四国あるき遍路の旅



左の写真は、今回お参りした、高知市の三十一番札所 五台山竹林寺での一枚です。紅葉がきれいでした。

平成二十二年十一月二十六日(金)〜二十八日(日)

参加者 二十一名

総歩行距離 約四十一・六km

宿泊地 一泊目 高知市長浜 「高知屋」

二泊目 土佐市 国民宿舎「土佐」

この文章は、歩き遍路写真集として、ご参加の皆さんにお配りした記録集の抜粋です。



Yes We Can

竹林寺から下田川を渡り、古集落の中を東に進んで行きま。左手の下田川の向こう岸には、近代的な建物が並んでいますが、私たちが歩く側は開発から取り残された感があります。その分、自動車も少なく、歩くには優しい空気があります。コンクリートの近代的な建物が並ぶ地域と、木造・土壁の建物が軒を並べる集落と、果たしてどちらが人間的なのかを、交通弱者である歩き遍路は考えされつつ歩くことが多いような気がします。

石土池のほとりの小高い山が三十二番禅師峰寺の山です。禅師峰寺が正式名称ですが、通称は峰寺(みねんじ)だそうです。でも、目の前の山は、決して峰ではなく丘ぐらいでしょう。名前ついでに、寺号に禅師とついているから禅宗とのかかわりもあるのだらうとインターネットで右往左往調べて見ても、どこにも出てきませんでした。あちこちのぞいて見て気付いたことは、どれもどこかのホームページからの引用ばかりで、オリジナリティのある本物がないことです。これでは学生のレポートと同じ、コピー&



禅師峰寺を後に、山中の遍路道を下る

ペースト(コピペ)です。私たちは、誰にも真似できない歩き遍路をしながら本物の遍路でありたいし、歩き遍路を通して、少しでも本物の人間に近づきたいと思うのです。

禅師峰寺も、車で来れば裏の駐車場に横付けできるのですが、本物の参道は山中の坂道でした。平地からのいきなりの登りはきついものですが、一歩ずつ一歩ずつ足を進めれば確実にお寺に近づくように、札所を重ねていくうちには、私たちも何かに近付いて行くに違いありません。そして、いつかは「Yes We Can!」

種崎の渡し船

禅師峰寺から雪蹊寺へ向かう遍路道はビニールハウスの中という記憶があったのですが、今回歩いた場所には、ショッピングセンターがあったり、造船所のようなところがあったりと、

一巡目とは景色がまるつきり違っていていました。

あとで考えると、一巡目とは使っている地図が違うことに気付きました。

どちらがどうということもありませんが、違う道を歩けると新しい発見があったりもして新鮮です。それ以上に、人生即通路という言葉からすれば、違う人生を経験するような・・・なんて、ちよつと大げさでした。

どちらの道を通るにしても、種崎の渡し船に乗って浦戸湾を渡ります。どんな人生を送ろうとも、最後は三途の川を渡るように…。ただし、種崎の船着き場には奪衣婆(だつえば)はおらず、「次は三時十分の船せよ。」と教えてくれる地元のや



34番種間寺にてお参り

さしいおじさんがいました。後続も間に合い、予定の渡し船に乗ることができました。乗船時間はわずか五分もあったでしょう。長浜の船着き場に接岸すると、雪躰寺までは一、五kmほどです。

二七歩き遍路と遭遇

清滝寺から高岡に戻る田んぼ道で、たくさんのお遍路さんとすれ違いました。この時期に団体の歩き遍路だろうか、しきりに愛想よく挨拶をしていきま

す。こつちも歩きなので、お互いさまという気持ちになり、挨拶を返します。何人もすれ違いうちに、私たちとあまりに違う小奇麗な服装、そういえば背中に荷物もないし、なんて思っていたら、清滝寺への道はマイクロボスさえ通れない道でした。そこで、件の団体さんは、麓でバスを下りて清滝寺に向かっていているところ

なのだど気付きました。

今まで、同じ歩き遍路さんだと思っていたのが、損をした気分になってしまいました。と同時に、これがおごりなのだと思

現代社会の忘れ物発見

麓の高岡からは、塚地峠を越えて宇佐に向かう遍路道になります。峠にたどり着いて、展望台の案内板にしたがって行ってみると、宇佐の町並み・宇佐漁港・宇佐大橋そして青龍寺がある横浪の半島まで一望にできました。

車社会になり、私たちが時間と引き換えにこんな景色を見捨てたんだなと感じないわけにはいきませんでした。



塚地峠からの見事な景色

第6回の記録

平成22年11月26日～28日

期日	曜日	コ	ー	ス	予	定	食事・宿泊		
1	11月26日	金	7:30 羽田空港集合 《タクシー》	10:45着 31番竹林寺	11:20発 一徒歩一 約5.7km	8:15発 ANA561 羽田空港 一徒歩一 約10分	09:45着 高知龍馬空港 《昼》 12:45着 32番禪師峰寺	10:00発 【歩く距離】約13.2km 昼食は竹林寺に向かつ途中のコンビニで購入し、32番で食す。 宿泊：高知屋 高知市長浜658 0888-41-3074	
2	11月27日	土	6:30 朝食 10:10着 仁淀川大師堂	7:30発 一徒歩一 約6.3km	10:30発 一徒歩一 約3.6km	8:50着 34番種間寺 11:30発 高岡ローソン	9:30発 一徒歩一 約3.0km	12:10着 35番清滝寺 13:00着 一徒歩一 約1.0km	【歩く距離】約27.9km 香美市土佐山田町佐古敷430-1 昼食は高岡のローソンで購入し、清滝寺で食べました。 宿泊：国民宿舎「土佐」 土佐市宇佐町電599-6 088-856-2451
3	11月28日	日	8:30発 国民宿舎「土佐」	一徒歩一 約1.2km	9:00着 青龍寺奥の院 36番青龍寺	9:30発 一徒歩一	9:30着	【歩く距離】約1.2km	
青龍寺参拝後、高知龍馬空港集合時間までは、フリータイム。 ①タクシーにて、宇佐から桂浜～高知城～日曜市散策、リムジンで空港へ ②観光タクシーをチャーターして、お好きな所へ									
17:00 高知龍馬空港集合 17:50発 JAL1492 高知龍馬空港 19:00着 羽田空港							【歩いた距離】約41.6km		

参加者募集

約20名

第7回

四国あるき遍路の旅

2巡目

- ◆時間があれば行きたい方
 - ・・・土日を利用しての二泊三日の旅です。
- ◆まだ遍路に行く年でもないからという方
 - ・・・体力のあるうちですよ。
- ◆興味はあるんだけどという方
 - ・・・思い立ったが吉日といえます。
- ◆どんな人が一緒なのか不安な方
 - ・・・一緒に歩けば、皆、仲間になりますよ。
- ◆体力に自信のない方
 - ・・・マイペースで大丈夫。疲れたらタクシーも可。
- ◆わからないことがある方・・・どうぞお問い合わせください。

二巡目第七回の参加者を募集いたします。

七回目は、高知西部の札所間の距離が長いところで、歩きと電車・バスでの移動が多くなります。札所は三十七番・三十八番の二ヶ寺です。途中からの参加でも構いませんので、どうぞお申込みください。

【日程】二月二十五日(金) ～ 二十七日(日)


【旅程】

【第1日】 高知龍馬空港からバス・電車。途中下車して「大坂遍路道」を歩き、再び電車で窪川。三十七番岩本寺宿坊泊。歩く距離は約13km。

【第2日】 窪川から電車で土佐上川口まで移動。そこから四万十川を越えて歩き。バスで大岐海岸まで、歩いて近くの遍路宿まで行き宿泊。歩く距離は約20km。

【第3日】 早期遍路宿発。足摺東側の遍路道を三十八番金剛福寺まで歩き、打上げ。バス・電車を乗り継いで、高知龍馬空港から帰路。歩く距離は13kmぐらい。

【参加費】 約五～六万円を予定





——11月の土曜会

収穫祭

11月13日(土)

十一月十三日（土）に、市原別院にて収穫祭が行われました。昨年は雨模様でしたが、今年も天候にも恵まれ、花園会の方をはじめ、幼稚園の親子、地元の方々など、四百名余りの人が参加してくださいました。

収穫祭に先立ち、仮本堂にて収穫感謝の法要が営まれ、園児による献灯献花、畑のさつまいもや柿・ゆずなどお供えして、お参りをいたしました。

幼稚園では、毎月Q園隊という親子ボランティアの活動をしており、サツマイモの苗植えから土寄せ・草取りなどを手伝ってくれます。今年の猛暑の中や、雨の日もいとわずに手伝ってくれた人もいました。そんなたくさんの方の手がかけられて



いること、お日さまや雨・土のおかげでできたサツマイモであることを、子どもたちにも気付いてもらえたらとお参りをしました。すると、誰に言われるでもなく、子どもたちが自然に手を合わせていたそうです。【左の写真】



お参りの後、畑でさつまいもと里芋の収穫、畑の片づけ、刈り払った笹の片づけなどの作業をしていただきました。笹を片づけるのに焚火をして、焼きイモを焼いている親子の姿も見られました。今では、めったに目にするのできかない焚火の火や煙を見ることが貴重な体験になったようです。

収穫祭の食事は、畑で採れた里芋をふんだんに使った「芋の子汁」、同じく畑のサツマイモたつぷりのお芋ご飯、国産地鶏の炭火焼、地元市原のそば愛好会のみなさんの手打ちそばです。芋の子汁は、住職故郷の味を模して、山のきのこ入り。お芋ご飯は、住職自ら一斗五升も炊き

- 【上右】 サツマイモの収穫中。
- 【上左】 さあ、里芋掘りの番です。
- 【下右】 ヤギも遊びに来ました。
- 【下中】 強盗ではなく、炭火焼係です。
- 【下左】 地産コシヒカリの即売中。

ました。（園児の芋掘りの時も合計すると、この秋に三斗五升ほど炊きました。茶坊主ならぬ飯坊主？）それでも、たくさん秋の味覚も、体を動かした後の秋の食欲の前にあっという間に平らげられました。

また、地元農家の方が、田んぼでとれたコシヒカリを、その場で精米して安くわけてくれました。それ以外にも、かぶや大根、柿、ゆずなども格安だったようです。

これから、子どもたちの自然体験の場としてだけでなく、お寺の行事も定着させていく予定です。お楽しみに。



【芋の子汁の材料】

里芋・長ネギ・こんにゃく・焼き豆腐・雑きのこ・大根・人参・ごぼう・カニ（本当は川のモクズガニ…ワタリガニで代用）

【味付け】

お手伝いの料理人の企業秘密



見寺にて、先住職五十嵐興道老師のもと得度式を挙げ出家し、その後、京都市八幡の妙心寺派圓福寺専門道場で修行。同道場で、

去る十月二十二日、矢野宗欽禅士の麟祥院入寺式が挙行されました。矢野宗欽禅士は、当山檀徒矢野洋二さんのご長男で、平成八年六月に静岡県清水市興津の清



宗欽禅士 麟祥院入寺



平成22年10月22日 (金)
東京湯島 臨済宗妙心寺派
天澤山 麟祥院

十年以上修行し、このたび、法縁をいただいて、東京湯島の麟祥院に入寺をいたしました。当日、雲水姿の宗欽禅士が「たのみましょー。」と古規に従って来訪し【右下の写真】、その後、本堂にて、法縁の和尚さま方が参列する中、本尊様、開山・歴代祖師方へお焼香、参拜。書院に席を移して、和尚様方に挨拶をされて、無事、入寺の式を務めることができました。今後、副住職、何年かのち麟祥院住職となって、教化布教に務められることとなります。



麟祥院に住職として両親とともに

【麟祥院のご紹介】
湯島天神のすぐそばで、「春日局」の菩提寺として有名なお寺です。明治のはじめ、鎌倉円覚寺の今北洪川老師を招いての禅会には、幕末の三舟といわれる勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟なども参禅していました。井上円了により「東洋大学」の前身である「哲学館」が創立された、東洋大学発祥の地でもあります。

土曜会

この集まりは、圓福寺にご縁のある人が、各種体験などをしながら懇親・談笑する自由空間です。たくさんの方の縁が広がります。

【期日】

一月十六日 花園会新年会
二月十九日 (未定)

三月 法話会
四月十六日 歩禅会

五月二十一日 新緑の養老溪谷(予定)
市原ボランテラ

六月十・十一日 歩禅会
新潟・湯沢方面(予定)

七月二十三日・二十四日 禅童会お手伝い
地蔵盆お手伝い

【時間】

土曜日午後六時～
テーマイベントの後、懇親会

【会費】

花園会員 男性 二千元
女性 千円
花園会員外 男性 三千元
女性 千円

【申込】

お寺までご連絡ください。

写経会

般若心経を写経いたします。大きめな字で書かれたとても書きやすい写経用紙を使用しています。お道具の準備から毛筆の基礎なども親切にご指導いたします。

【前期期日】

二月六日 七月三日
三月六日 八月七日
四月三日 九月四日
五月八日 十月二日
六月五日 十一月六日

【後期期日】

【時間】

午後一時半～三時半

【会費】

一期五回で、花園会員三千元
会員外 五千元

【講師】

齊藤 加代子先生・住職

【用意するもの】

小筆、硯、墨、半紙

【定員】

二十名

【申込】

お寺までご連絡ください。



ご詠歌

臨済宗妙心寺派のご詠歌は、花園流ご詠歌といえます。本山や各地方で全国大会が開催され、何千人もの参加者を集めるほど盛んです。

わかりやすい言葉で書かれたご詠歌を通して、親しく禅の教えに触れることができます。ご興味のある方は、男女問わずお寺までお気軽にお問合せください。一昨年から講師の先生をお招きし、わかりやすいご指導の下、男女混声で練習しています。見学歓迎、参加更には大歓迎です。

【期日】

毎月第二・第四木曜日

【時間】

午後二時～四時

【会費】

半年で三千元

【講師】

山梨県 楽音寺住職
内藤 睦雄師

【定員】

たくさん

【申込】

特に必要なし。
問合せはお寺まで。



茶禅会

日本の茶道は深く臨済宗の教えを随所に体現しております。「わかりやすい」をモットーに、基本を大切にしながら茶禅会を目指します。ウン十の手習いでも構いません、お寺で茶道に親しんでくださる皆さんのご参加をお待ちしております。

【日時】

毎月第二・第四火曜日午後一時半〜

【会費】

月二千元

【講師】

圓福寺寺庭 宮田 宗尚

【服装】

白い靴下（それ以外は自由。）

【用意するもの】

裏干家用の扇子・帛紗・懐紙

（茶禅会で購入することもできます。）

【定員】

五〜六名

【申込】

お寺までご連絡ください。

ご不明な点など、何なりとお寺までお問合せください。



涅槃寄席



去る十月二十四日（日）、毎年恒例の「涅槃寄席」が、瀧川鯉昇師匠をお招きして開催されました。

普段はお香の香りに満たされる本堂が寄席となり、たくさん笑いに満たされました。今年も十月二十三日の予定です。



第32回花園会ゴルフ大会

10月19日 於：山武グリーンカントリー倶楽部

第三十二回の大会は、女性四名を含む二十三名の参加で、永田猛さんのご紹介で、山武グリーンカントリー倶楽部で開催されました。成績は表の通りです。

参加者の罰金で集められる恒例のチャリティ総額は、一万八千円でした。いつも通り、寺におかげさまで献金いただきました。また、大会は平成二十三年五月十五日（火）です。

順位		グロス	ハンディ	ネット
優勝	石田 和夫	96	20	76
準優勝	向畑 鉄雄	85	8	77
3位	常世田 政信	89	12	77
4位	佐藤 美智子	106	29	77
5位	荒井 恒夫	97	19	78

平成二十三年
年間行事予定

5月 25日 第三十三回 花園会ゴルフ大会	4月 8日 降誕会(花まつり)	3月 25日~27日 冬の寺子屋 和尚と滑ろうin苗場	18日~24日 春彼岸	13日 彼岸会法要	2月 25日~27日 二巡目の第七回 四国あるき遍路の旅 一〇ページのご案内があります。	5日 涅槃会 お釈迦様のお亡くなりになった日。涅槃図の掛け軸を掛けて法要をします。	1月 16日 花園会新年会 二十ページのご案内をご覧ください。	1日~3日 新年修正会 仏教興隆・国家安泰・五穀豊穣・檀信徒各家の繁栄などを祈禱する法要をしています。この修正会で祈禱した「般若札」は、寺報・カレンダーなどと一緒に、みなさまにお届けいたします。
--------------------------------	-----------------------	--------------------------------------	----------------	--------------	--	---	--	---

10月 14日 第三十四回 花園会ゴルフ大会	5日 達磨忌 禅宗初祖「達磨大師」の命日。	8月 20日 地藏盆 子どもたちの楽しいお盆の行事です。夜店や野点・ゲーム大会などで盛り上がる夜祭りです。併せて、地藏盆の法要で水子・ペット・人形供養も行います。	10日~16日 八月盆の棚経 八月盆のお宅に棚経にお伺い致します。	23日~24日 圓福寺寺子屋「禅童会」 一泊二日の子どもたちの坐禅会です。坐禅だけでなく、楽しいゲームやいろいろな体験もできます。たくさんさんの参加を待っています。	7月 11日~16日 七月盆の棚経 七月盆のお宅に棚経にお伺い致します。	10日 山門施餓鬼会	9日 初盆・新入檀信徒 施餓鬼会 この日は、初盆のほとけさまと、圓福寺と新しくご縁のできたほとけさまの施餓鬼会をいたします。うためてご案内を差し上げます。
---------------------------------	-----------------------------	--	---	--	---	---------------	--



釈迦苦行像【圓福寺蔵】

12月 31日 年越しまいり	17日 歳末ボランテラ 花園会忘年会	8日 成道会 お釈迦様がお悟りを開かれた日です。	11月 25日~27日 二巡目の第八回 四国あるき遍路の旅	12日 市原別院収穫祭	10月 23日 土曜会「涅槃寄席」	23日 涅槃精舎毎歳法要 永代供養の方々の法要と、生前戒名の授戒会。
----------------------	--------------------------	--------------------------------	--	----------------	-------------------------	--



——圓福寺では、毎年、和やかな楽しい新年会をしております。たくさんのお越しをお待ちしております。

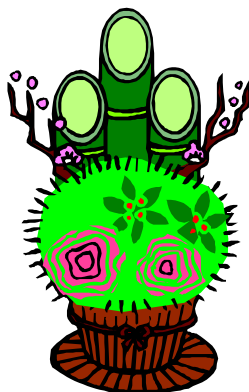
圓福寺とご縁のあるみなさんは、千葉という地域柄、全国各地のご出身の方がほとんどです。北は北海道、南は九州沖縄までという決まり文句の通りです。

石川啄木がふるさとの訛りを上野駅に聞きに行きましたが、圓福寺の新年会に来れば、全国のお国言葉を聞くこともできます。

どうぞ、お気軽にお寺の新年会にお出かけ下さい。



平成23年
西暦2011年
仏暦2554年



- 河西達雄
- 福田和夫
- 平山 実
- 塩月高泰
- 菅野光夫
- 稲田陽英

圓福寺住職

宮田宗格

圓福寺花園会

日時 一月十六日(日)

午前十一時 新春ご祈禱
正午 新年懇親会

会費 三千円

(ご祈禱料、お守り、お膳・飲み物代を含みます。)

会費は当日受付です。

申込 電話・ファックス・メール

などで、お寺までご連絡下さい。